

津波避難に係るワークショップ

< 課題 : ペットとの同行避難について >

1. 設定

- ・主人公は、片瀬山の一軒家で 20 年以上生活している 65 歳の女性。同居は同じ年の夫と 5 歳の大型犬が 1 匹。子は 25 歳の長男が 1 人で北海道在住。
- ・季節は 3 月中旬で時刻は正午。天候は快晴。
- ・被災場所は、犬との散歩で小田急江ノ島線の片瀬江ノ島駅改札前の広場に到着時。海拔は 4m。夫は自宅で昼寝中。
- ・家には大きな被害はなく、食器棚から食器が落下した程度。長男は北海道にいたため被害なし。
- ・大型犬は地震におびえて震えているが、吠えはしない。
- ・地震のモデルは、相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）。震度 7 を観測し、大津波警報が同時に発令される。最大津波到達時間は 12 分後。最大津波高は 10m で津波浸水深は 6m（ハザードマップのとおり）。

【第 1 波は 12 分後（最大）、第 2 波は 30 分後、第 3 波は 1 時間後、警報解除は 3 時間後】

※市職員は大津波警報が発令されたため、津波浸水想定区域内に入れない。職員が参集する場所は指定避難所で、津波警報が解除された発災から 3 時間後。

2. 協議内容

- ・状況に応じて“どうすればより被害や問題を小さくできるか？”という視点で、各項目における行動や対応策を検討してください。
- ・“避難中”では、発災直後～3 時間以内での状況として検討してください。
- ・“発災後”では、3 時間～72 時間が経過するまでの状況として検討してください。
- ・“平常時”では、“避難中”と“発災後”の行動や対策等をふまえて、こういった準備や備えをしたら良いのか？を検討してください。

3. 発表（本日）

- ・5 分以内でお願いします。発表の際には必ず“班名”と“課題”を仰ってから始めてください。

4. その他

- ・今回の内容は、今年度の『防災だより』に掲載する予定です。

以 上